

化学で夢のお手伝い

PURPOSE ～経営理念～

私たちは、化学技術の
絶えざる革新を通じ、お客様が期待し
満足する高品質の製品・サービスを
世界に提供し、環境調和型の
生活文化の創造に貢献します。

VISION ～目指す企業像～

スペシャリティ製品を軸とした
オリジナリティにあふれるポートフォリオと
環境に優しいモノづくりで、
持続可能な社会の実現に
貢献する企業

保土谷化学グループは、「PURPOSE(経営理念)」「VISION(目指す企業像)」に従い、中長期的に持続可能な地球・社会の実現に向けた責任を果たすため、「経済利益の追求と社会課題の解決を両立させ、全てのステークホルダーに価値を提供すること」を基本とし、企業活動を行っております。

■編集方針(発行にあたって)

保土谷化学グループは、中長期的な価値創造に向けた取り組みについての理解を深めていただくため、2017年度より「統合報告書」を発行し、株主・投資家の皆様、お客様・お取引先様の皆様、地域・社会の皆様、そして従業員といった全てのステークホルダーの皆様との対話を重ねてきました。

本報告書では、保土谷化学グループの企業価値創造の仕組みや中長期的な企業成長のために保土谷化学グループが取り組むべきマテリアリティをお示しするとともに、近年の情報開示要請の高まりを踏まえ、環境、気候変動への取り組みや人材に対する考え方、コーポレート・ガバナンスといったESG情報の開示の充実を図りました。

また、ホームページでは、引き続き、本報告書では紹介できなかった詳細な製品情報、財務情報やESG情報に加え、グループ会社の詳細な情報について掲出してあります。ご参考にさせていただくホームページの検索が容易になるよう、QRコード、URLを記載しておりますのでご利用ください。

本報告書が、ステークホルダーの皆様に、保土谷化学グループをより一層ご理解いただく一助となれば幸いです。これからも、本報告書の内容のさらなる充実に努め、ステークホルダーの皆様との対話に役立てまいります。

※QRコードの商標は(株)デンソーウエーブの登録商標です。

■報告対象期間

原則として2022年4月から2023年3月を対象期間としておりますが、当該期間以前もしくは以後の活動も報告内容に含まれております。

■報告対象範囲

保土谷化学工業株式会社を含む保土谷化学グループ各社

■発行時期 2023年9月

■参考にした主なガイドライン

経済産業省「価値協創ガイド」
IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
ISO26000:2010社会的責任に関する手引き
GRI「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)による提言



CONTENTS

1 保土谷化学グループの全体像

At a Glance	3
あなたの周りの保土谷化学グループ	5
保土谷化学グループのイノベーションの歴史	7

2 保土谷化学グループが考える未来

社長メッセージ	9
保土谷化学グループの価値創造プロセス	13
価値創造プロセスの解説	15
リスクと機会	17
マテリアリティ	19

3 どうやって未来を創るのか

中期経営計画の振り返り	21
中期経営計画「SPEED25/30」	22
財務戦略	25
財務・非財務ハイライト(連結)	27
研究開発	29
持続可能な未来につなげる環境配慮型の製品・技術	31
保土谷化学グループの事業概要	32
・機能性色素セグメント	32
・機能性樹脂セグメント	33
・基礎化学品セグメント	34
・アグロサイエンスセグメント	35
・物流関連セグメント	36
保土谷化学グループのグローバル展開	37

4 未来を確かなものにする

保土谷化学グループのサステナビリティ	38
TCFDに基づく気候変動関連の情報開示	39
レスポンシブル・ケア	41
・レスポンシブル・ケア マネジメント	41
・環境	41
・品質保証	43
・化学品・製品安全	44
・労働安全衛生・保安防災	45
・調達活動	46
人材	47
人権の尊重	49
地域・社会	50

5 持続可能な価値創造を支える仕組み

コーポレート・ガバナンス	51
社外取締役対談／新任社外取締役メッセージ	55
役員一覧	57
コンプライアンス	58
リスクマネジメント	59

6 データ

6ヵ年の主要財務データ／真正性証明	60
主なESGデータ	61
会社情報	62